

平成26年度 富士見町総合防災訓練

～8月31日(日)実施～

大地震は必ずやつてくれる！

自主防災会	医療救護本部および本郷小学校救護所	赤十字奉仕団
防災緊急メール、告知放送により指定場所に集合する。 安全確認をしながら、避難所へ向かい、安否確認、建物簡易点検を行う。	 町の基幹病院である富士見高原病院に「医療救護本部」を設置。 医療救護本部より町医師会へ救護所への派遣依頼。	
乙事・立沢・瀬沢新田自主防災会より負傷者が多数いる旨を災対本部に報告。 本郷小学校(救護所)に誘導する。 災対本部より自主防災会へ安否確認の集約と第一次避難所の建物簡易点検の指示を受ける。 【訓練の重点】 <ul style="list-style-type: none">・安否確認への世帯全員の参加・弱者世帯への声かけ・集合していない世帯の訪問・確認	 傷病者が富士見高原病院に集まりだす。 トリアージ開始 富士見高原病院でのトリアージ 内訳 死者4名 重症8名 中等症8名 軽症16名	 各自主防災会で炊き出しができるよう実地指導を行う
災対本部からの避難勧告指示に従い乙事・立沢・瀬沢新田区民を第二次避難所(本郷小学校)へ誘導する。 その他の自主防災会は安否確認、建物簡易点検報告を行う。 負傷者を本郷地区の救護所へ避難者を第二避難所へ	 ・本郷小救護所においてトリアージ開始 ・本郷小救護所から重傷者がいるため災対本部へ救急要請を無線で行う。 ・本郷小救護所で負傷者の現地処置を行うため、災対本部へ薬剤の要請を行う。 ・本郷小救護所において赤タグ1名救急要請。富士見消防署救急車出動中のため、病院の救急搬送車両出動。 本郷小救護所と病院で症状報告を行う。 ・本郷小救護所でのトリアージ 内訳 死者1名 重症1名 中等症2名 軽症17名	

【訓練想定】
平成26年8月31日(日)午前8時00分、糸魚川-静岡構造線を震源とした内陸直下型地震が発生し、富士見町で震度6強を観測した。

頻発する災害に備え、災害発生時に最小限の被害にとどめるために、住民、自防災会、行政機関および防災関連機関が緊密に連携して、大規模地震に対応できるよう実践に即した訓練が求められています。

また、異常気象による災害の他に近年地震に対する注意喚起がされています。国の中防災会議においては、大規模地震として検討対象となつた東海地震の発生確率が30年以内に88%、東南海地震が70%程度、南海地震が60%程度、首都直下型地震が70%程度といわれています。

この地震により、広範囲で家屋の倒壊等による多くの負傷者が発生し、人的被害のほか、ライフライン施設の被害が発生している。

富士見町では、災害対策本部を設置し、各区・集落の安否確認情報収集をする。また、電話網が不通となり、電気も通電していない状況を想定する。電子メールは送受信可能とする。この被害想定のもと、以下の内容を実施しました。

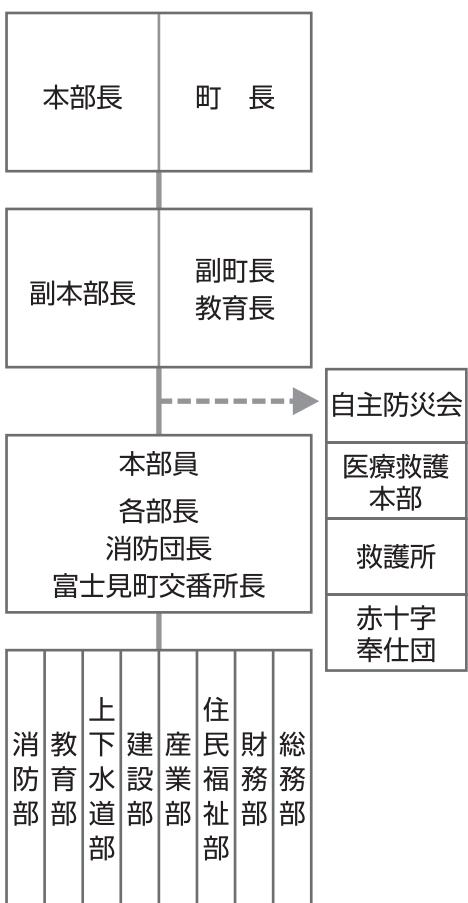
総合防災訓練のテーマ

情報収集と発信 災害対策本部との連携

この訓練では如何に迅速に正確な情報を収集し、発信できるかを大きなテーマとして取り組みました。電話、携帯電話が使えない状況ではデジタル簡易無線、消防団無線、防災行政無線を使った訓練となりました。デジタル簡易無線は全集落に配置しており、非常時の

総合的な防災力の向上

【災害対策本部の組織図】



【各団体のタイムスケジュール】

時間	富士見町災害対策本部	消防(団)
8:00	<p style="color: red;">緊急地震速報</p> <p>災害対策本部長(町長)より「災害対策本部設置」の宣言をする。</p> <p>災対本部長より公共施設、道路、河川、ため池等の被害状況を集約するよう各対策部長に指示。</p> <p>乙事・立沢・瀬沢新田自主防災会より家屋の倒壊等で負傷者がいるとの連絡が入った</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災対本部長より本郷小学校に救護所を設置するよう住民福祉部長に指示 ・消防団長に乙事・立沢・瀬沢新田区の負傷者の救出と救護所に搬送するよう指示 ・富士見高原病院に医療救護本部の設置と傷病者の受入依頼。救護所の開設を報告。 ・各対策部、消防団から災害情報を集約し、広報班に渡す。 ・ホームページ、防災緊急メール、LCVFM(コミュニティFM)に災害情報を配信。(30分毎更新) ・LCVテレビのデータ放送に災害情報を配信。 <p>【避難勧告】 本郷地区で家屋の倒壊、余震等による二次災害が予想されたため災対本部長が本郷地区に避難勧告を発令。</p>	<p>防災緊急メール、告知放送で指定場所に集合するよう伝達する</p> <p>災対本部長より消防団長に対し町内パトロールを実施し、火災・家屋の倒壊等被害状況報告をするよう指示。</p> <p>各分団で地区内をパトロール</p>
9:00	<ul style="list-style-type: none"> ・災対本部長より本郷地区の一次避難所に負傷者や避難者が多く受け入れができないため、本郷小学校に二次避難所を開設するよう指示 ・避難所班が本郷小体育館について立等を設置し、生活居住区を設け避難所を開設。 <p>本郷小体育館裏土手の崩落の報告を受け、災害協定に基づき町建設事業協同組合に応急復旧を依頼する</p> <p>救護所の要請を受け、富士見高原病院へ重傷者の受入、薬剤手配依頼。 富士見高原病院から薬剤を受取り救護所へ搬送。</p> <p>10時現在の被害状況を集約。 生存確認者10,169人 けが人22名 外出・不明者1342人 集落未加入者生存確認者数 75名 けが人1名 富士見高原病院からの報告 死者2名 重傷者11名 軽傷者15名</p> <p>訓練終了</p>	<p>第6分団より本郷小学校体育館裏土手の崩落の報告あり。 災対本部長に報告。</p>
11:00		消防署員による救急法指導



▲災害協定により建設業組合に協力依頼

消防団無線は各分団に配備している消防車に装備されていて、災害対策本部の消防部と交信することができます。訓練ではパトロール中に倒壊家屋の発見や負傷者の情報等をいち早く災害対策本部に伝えるといった伝達訓練を実施しました

町建設課職員は公用車に配備している防災行政無線（移動系）により、パトロールでの被災状況を建設部に伝え、災害対策本部に報告しました。災害対策本部では各部から的情報を集約し、コミュニケーション（LCVFM）やホームページ等で、町民の皆様に情報発信を行いました。

通信手段として活用できます。
今回の訓練では各自主防災会と安否確認・建物簡易点検の報告をこの無線を使って行いました。非常に高性能で全集落聞き取ることができました。

開設判断を行い、避難所へ
の誘導を指示しました。

防災行政無線（移動系）
は救護所と災対本部の通信
用とし、医療救護本部（富
士見高原病院）へはデジタ
ル簡易無線を使用し情報伝

訓練から見えてきたもの

●被害状況等の情報収集および発信については2月の豪雪災害を教訓として新たに町のホームページ、防災緊急メール、LCVTVのデータ放送に災害対策本部から指示のあつた内容を配信しました。LCVFM（コミュニティFM）は直接町へ出向き、被災状況等をラジオで実況していただきました。（実際に大きな災害があつた時は災害協定に基づき派遣される）

ホームページへの情報提供は30分毎にデータを更新することができましたが、防災緊急メール、データ放送は2回の配信しかできませんでした。今後は有効な情報をいち早く発信できるよう整備していきます。

町民の皆様がLCVTVのデータ放送の内容を確認する方法については、【正面】を参考にしてください。また、携帯電話、スマートフォンに防災緊急メールの登録をされていない方は登録をお願いします。

なお、諏訪6市町村の災害情報をスマートフォンに配信する無料アプリがLCVFM769より提供いただけますのでご利用ください。（詳しくは広報9月号に掲載）

総合防災訓練の際には組織の役割や取り組みについて再確認をお願いします。万が一、倒壊した家屋の中で発見が遅れたことにより尊い命が失われるなどのないよう町や自主防災会、消防団が連携して救助に当たれるよう「地域防災計画」に地域防災力の充実強化に関する事項を定めます。

342人いました。この不明者の数を減らすには普段から家族、仲間等で災害用伝言ダイヤルやSNS、ツイッター、携帯メール等で連絡がとれるように準備し、安否確認はどこの避難所でも受付できますので必ず報告するようにしてください。

集落未加入の方も最寄りの避難所へ報告をお願いします。

この報告により、実際に救助を求める

● 昭和56年以前の公民館等は耐震基準に適合しないものがあるため、耐震診断を行つた経過があります。耐震補強工事を指摘された分館は「公民館分館建設事業補助金交付規定」により耐震補強工事により総合評点が1.0以上になる補強工事を行う場合は町から補助金がれますので検討ください。
（問い合わせ先：生涯学習公民館係）

●富士見町における地震に対する「避難勧告」は、人命、身体の保護または災害の拡大防止のため、特に必要と認められる場合に対し、町長が発令します。

場所で避難方法等をよく周知し、落ち着いて避難することになっています。また、大規模な地震が発生した場合は、同時に各所で火災が発生し、大火災に発展することが予想されるため、避難が必要と判断した場合は、直ちにガスやブレーカー等の火の始末を必ず行つてください。

大きな地震は必ずやつてきます！いかなる時も冷静に判断できるよう防災の準備をお願いします。

①まずは、LCVの画面をつけます。



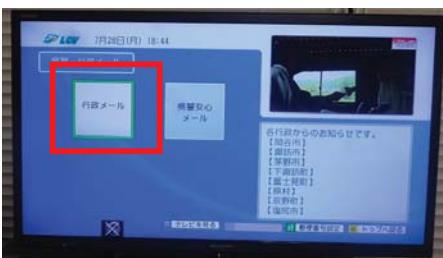
②テレビリモコンのデータボタンを押します。



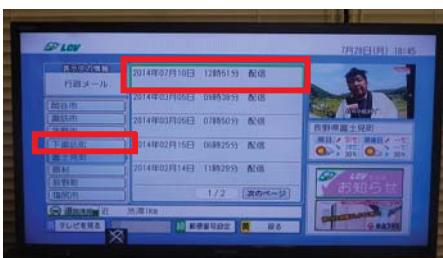
③データ画面に変わり、「県警安心メール・行政メール」を選び、リモコンの決定ボタンを押します。



④画面が変わり、「行政メール」を選び、リモコンの決定ボタンを押します。



⑤画面が変わり、「富士見町」を選択すると、情報が《時系列》で表示され、見たい情報を選びリモコンの決定ボタンを押します。



⑥富士見町の防災情報が閲覧できます。

